

玉藻池を中心とする日本庭園は規模が小さく、新宿御苑の中ではよく見過ごされてしまう場所ですが、実際のところは、まるで宝石のようにとても貴重な庭園です。このエリアはもともと、将軍の重要な家臣であった内藤清成（1555～1608）という大名の庭園の一部であり、典型的な日本庭園の特徴が凝縮された場所です。大木戸休憩所からは庭園のすばらしい眺めを一望でき、庭園を散策すれば、新たな視点から景色を楽しむことができます。玉藻池は深い森に囲まれており、その中にはたいへん珍しい桜の木も含まれています。この池はもともと 1700 年代に作られたもので、玉川上水（上水道）の余水を利用していました。今日、この歴史的な庭園で玉藻池やそこに浮かぶ小島を眺めると、自然を愛でる心や平穏さをはるか何世紀も前からきわめて重要視されていたことに気づかされます。